

確定後情報

ニシケンモノノフ
先行策で
庄野師匠では他が速くすくに包まれてしまった。この距離は少し長い先行行っても激し

ケイティブレイブ
勝ち負けを期待
形は避けたいから、ここだと行くしかない。体調はいいし、スピードは見劣らないはず。勝ち負けを期待

ハナヘキマ
ハナヘキマ
この川崎記念を今年は勝って臨む。地力強化で上位争いを

ノボバカラ
ハナヘキマ
この川崎記念を今年は勝って臨む。地力強化で上位争いを

インカンテーシヨ
衰えは感じない
羽月師匠先週で仕上げたつもりなので、最終追い切りはサラッとして十分。年齢的な衰えは感じないし、楽しみの多い5歳時

サウインドトゥルー
展開が向けば
高木登師匠の発馬地点の芝で置かれるとは思って、枠に閉じては特にこだわりはなかった。最終追い切りは特につかかった。最後まで、ジョッキーに騎乗してもらったが、納得いく動き

Table with 16 columns (race numbers 1-16) and 10 rows (horse names, jockeys, trainers, etc.)

Table with 16 columns (race numbers 1-16) and 10 rows (horse names, jockeys, trainers, etc.)

Table with 16 columns (race numbers 1-16) and 10 rows (horse names, jockeys, trainers, etc.)

Table with 16 columns (race numbers 1-16) and 10 rows (horse names, jockeys, trainers, etc.)

Table with 16 columns (race numbers 1-16) and 10 rows (horse names, jockeys, trainers, etc.)

Table with 16 columns (race numbers 1-16) and 10 rows (horse names, jockeys, trainers, etc.)

Table with 16 columns (race numbers 1-16) and 10 rows (horse names, jockeys, trainers, etc.)



柏木の単連
2連覇を目ざす5歳ゴールドドリームは、この東京1600m(3100)こそまさにベスト。切れ味と総合スピードで上回る。昨年より地方も強化した。相手本線は11も強化した。相手本線は11

本紙の見解

連覇の公算高いゴールド

昨年の覇者ゴールドドリームは、東京ダート千六(1)①②着。先行ペースを一気に差し切った前走は、前年大敗の条件。今年も臨戦過程が違わず、一段と地方強化もなっている。展開も昨年並みの速め平均ペースが見込め、連覇の公算はきわめて高い。ムア騎手の連続騎乗も大きなプラス材料。千六歓迎のティエムジンソクが相手。【単有望】

WIN5(5)

馬単 14→10 14→12 14→16 14→2 2→4 5 14→10 14→12 14→16 14→2 2→4 5

【評価】千六(3300)の距離適性は魅力だが、牝馬限定戦での実績。ここは相手強力。【内】脚をためれば

メイシヨウスムイトモ

【評価】昨秋45戦目にして初重賞制覇。力をつけたが、千六3戦⑤⑧着は不安材料。【最終に賭ける】

キングズガード

【評価】昨年このレース①着を含め、東京の重賞で③着以内なし。直線勝負でどこまで。【最終に賭ける】

グリーンチャンネル解説者 黒津 紳一 桧原 正行

東京 11R TMイチ推し14ゴールドドリーム

11ニシケンモノノフ 栗坂 助手 50.9 37.4 13.2 一杯道 8栗坂助手 563 404 130馬なり

☆フェブラリーS☆ 出馬前馬体重 1 510(※) 2 512(※) 3 518(※) 4 528(※) 5 484(※) 6 526(※) 7 566(※) 8 500(※) 9 484(※)

【評価】昨年春から(5200)の快進撃。昨夏の千七3戦は千通過59秒台。初の千六の流れにも戸惑いはないか。

ティエムジンソク

【評価】昨年春から(5200)の快進撃。昨夏の千七3戦は千通過59秒台。初の千六の流れにも戸惑いはないか。

ロンドンタウン

【評価】昨年春から(5200)の快進撃。昨夏の千七3戦は千通過59秒台。初の千六の流れにも戸惑いはないか。

3連複 10 12 14 10 14 16 2 10 14 4 10 14 12 14 16 2 12 14 4 12 14 2 14 16 4 14 16

【評価】昨年春から(5200)の快進撃。昨夏の千七3戦は千通過59秒台。初の千六の流れにも戸惑いはないか。

【評価】昨年春から(5200)の快進撃。昨夏の千七3戦は千通過59秒台。初の千六の流れにも戸惑いはないか。

レットツゴ

【評価】昨年春から(5200)の快進撃。昨夏の千七3戦は千通過59秒台。初の千六の流れにも戸惑いはないか。

レットツゴ

【評価】昨年春から(5200)の快進撃。昨夏の千七3戦は千通過59秒台。初の千六の流れにも戸惑いはないか。

12 14 16 12 14 16 4 12 14 2 14 16 4 14 16

【評価】昨年春から(5200)の快進撃。昨夏の千七3戦は千通過59秒台。初の千六の流れにも戸惑いはないか。

【評価】昨年春から(5200)の快進撃。昨夏の千七3戦は千通過59秒台。初の千六の流れにも戸惑いはないか。

レットツゴ

【評価】昨年春から(5200)の快進撃。昨夏の千七3戦は千通過59秒台。初の千六の流れにも戸惑いはないか。

レットツゴ

【評価】昨年春から(5200)の快進撃。昨夏の千七3戦は千通過59秒台。初の千六の流れにも戸惑いはないか。

12 14 16 12 14 16 4 12 14 2 14 16 4 14 16

【評価】昨年春から(5200)の快進撃。昨夏の千七3戦は千通過59秒台。初の千六の流れにも戸惑いはないか。

【評価】昨年春から(5200)の快進撃。昨夏の千七3戦は千通過59秒台。初の千六の流れにも戸惑いはないか。

レットツゴ

【評価】昨年春から(5200)の快進撃。昨夏の千七3戦は千通過59秒台。初の千六の流れにも戸惑いはないか。

レットツゴ

【評価】昨年春から(5200)の快進撃。昨夏の千七3戦は千通過59秒台。初の千六の流れにも戸惑いはないか。

東京 11R TMイチ推し14ゴールドドリーム 11ニシケンモノノフ 栗坂 助手 50.9 37.4 13.2 一杯道 8栗坂助手 563 404 130馬なり

馬番重複オッズ 1 999 15 336 11 781 2 307 7 999 16 152 12 361

スタツプ予想 脚質 能力指数 崎木本村田口山崎西川 能力久富保 藤志沢谷丸山

馬単オッズ 210 44.4 214 45.6 214 79.3 210 73.9 102 2 33.9 104 71.7 106 78.4 1012 34.5 61014 28.1 21416 26.1 141210 56.8 1012 35.0 21016 39.0 101415 40.7 1214 30.5 21214 44.4 41416 48.6 141216 49.5 1415 73.7 1410 7.7 1411 68.4 1412 16.6 1415 36.4 1416 10.1 1612 59.9 1610 24.8 1612 45.7 1614 18.5

◆根岸S勝ち馬の成績◆

20年ワイルドワンダー	6着
21年フェラーリ	5着
22年グロリアスノア	5着
23年セイクリムズン	6着
24年シルクフォーチュン	2着
26年ゴールドスキ	10着
28年モニー	11着
29年カフジテイク	12着

* (内は人気)

◆チャンピオンズC勝ち馬の成績◆

20年ヴァーミリアン	1着
21年カネヒキリ	1着
22年エスポワールシチー	1着
23年トランセンド	1着
24年トランセンド	1着
26年ベルシャザール	7着
29年サウンドトゥルー	8着
*26年まではJCTダート。(内は人気)	

前走千六の馬不在は珍しくないが、強力な逃げ馬が距離を縮めてマイル初挑戦は稀なケース。しかも今年は先週「カミソリ」勝負型も勝ちに加われば、昔でいう「ナタ」の切れ味タイプが届いて穴。この盲点⑤サウンドトゥルーの遅れ差し。(特捜班)

◆前年優勝馬の成績◆

21年ヴァーミリアン	6着
22年サクセスプロクケン	3着
24年トランセンド	7着
25年トランセンド	7着
27年コパノリッキ	1着
28年コパノリッキ	7着
29年モニー	12着

* (内は人気)

ダート千六の日本レコード、1分33秒3をマークした怪物クロフネ。まだ産駒にJRAダートG1勝ち馬はいないが、昨年のチャンピオンズカップ②着馬テイムジンソクは東海Sを快勝し再びのG1挑戦。父が強烈なインパクトを残した舞台、初距離・初コースなどは不安要素にはならない。むしろ、さらに高いパフォーマンスを発揮する可能性が高い。

1月開催になって以降、東海

☆関東所属ジョッキーステークス特別リーディング☆

順位	騎手	所属	対戦率
1	崎辺 裕典	野村大	.308
2	橋本 崇博	野村大	.248
3	吉田 大祐	野村大	.229
4	北村 大津	野村大	.176
5	柴崎 山	野村大	.149
6	大田 洋	野村大	.128
7	柴崎 山	野村大	.125
8	大田 洋	野村大	.132
9	大田 洋	野村大	.141
10	大田 洋	野村大	.168

(2017年終了)

○フェブラリーステークス優勝馬前走成績

20年ヴァーミリアン	川崎記
21年サクセスプロクケン	JCTD
22年エスポワールシチー	JCTD
24年トランセンド	根岸S
25年トランセンド	根岸S
26年トランセンド	根岸S
27年コパノリッキ	根岸S
28年コパノリッキ	根岸S
29年モニー	根岸S

《2月11日(日)のWIN5》

WIN①...東京⑨R	8ミリッサ	人気	1203206票
WIN②...京都⑩R	5ガンコ	人気	318740票
WIN③...東京⑩R	5レッドグルニカ	人気	33176票
WIN④...京都⑩R	4クリンチャー	人気	2029票
WIN⑤...東京⑩R	6オウケンムーン	人気	

的中票数 112票 払戻金 439万3240円
次回へのキャリーオーバー 0円

Sの勝ち馬は(2011)。当日10割勝てば、コンビを組む古川吉洋騎手は97年阪神3歳牝馬Sのインブライド以来、21年ぶりのG1制覇。管理する木原調教師にとっても、開業20年目の初G1制覇となる。

前年のチャンピオンズカップ勝ち馬は(3022)。連覇を狙うゴールドドライムは、当然相手候補の筆頭だが、⑩着以下の馬も(32110)と巻き返しが目立つ。◎テイムジンソクから⑤⑪⑭を絡めた3連系の馬券で勝負。(編集部・山下)

競馬人情
吉川良

梅の花が咲いてフェブラリースである。梅が寒から冬に負けながら、「春が来るから冬に負けな」と言っている。

しかし、今年の福井や新潟の雪は狂ったように凄。古いつきあいの競馬好きで、新潟にいる老医師が、いつもは夜に電話してきてバカ話をするのだが、午前中に電話してきていきなり、「サルヴァートル・アダモ!」と叫ぶように言うから、私はピンときて、「雪が降る、あなたは来ない」と歌った。雪で車も来ない、ただ降るばかりのアダモのシャンソン曲で、患者が来ないと嘆いているのだ。

「若いころ、ノンコという女とつきあったの。で、ノンコがメが本命」という返事だった。私は大野が乗らないのが不満だけど、馬主との友情からサウンドトゥルーの勝利を願う。馬単⑤⑭①点勝負!

フェブラリーステークス 過去10回の成績

開催年	馬名	性齢	騎手	勝タイム	通過順	人馬	単勝
2016	ヴァーミリアン	牡六	豊	1:35.3	4	15	240
2015	ブルーコンコルド	牡八	豊	1:44.1	7	28	2820
2014	ワイルドワンダー	牡六	岩田	1:38.7	7	3	3520
2013	サクセスプロクケン	牡四	内田博	1:34.6	3	2	2060
2012	カジノドライブ	牡四	安藤勝	1:42.2	2	3	4710
2011	カネヒキリ	牡七	ルメー	1:44.4	1	4	14070
2010	エスポワールシチー	牡五	佐藤晋	1:34.9	2	2	170
2009	テストマツタ	牡四	岩田	1:42.7	5	8	890
2008	サクセスプロクケン	牡五	内田博	1:34.4	3	4	1190
2007	トランセンド	牡五	藤田伸	1:36.4	1	1	350
2006	フリーオー	牡七	Mデム	1:40.2	1	3	1100
2005	パーティパーティ	牡四	池添	1:46.5	4	4	2040
2004	テストマツタ	牡六	岩田	1:35.4	3	3	2430
2003	シルクフォーチュン	牡六	藤田伸	1:35.1	4	4	10510
2002	ワンダーアキュート	牡六	和田重	1:39.1	7	2	26210
2001	ブルーフランデー	牡五	浜	1:35.1	7	3	670
2000	エスポワールシチー	牡八	松岡	1:42.2	2	2	10330
1999	ワンダーアキュート	牡七	和田重	1:40.0	7	7	17580
1998	コパノリッキ	牡四	田辺	1:36.0	2	2	27210
1997	ホッコータルマエ	牡五	幸	1:45.5	2	2	84380
1996	ベルシャザール	牡六	Cデム	1:42.1	1	1	256500
1995	コパノリッキ	牡五	武	1:36.3	1	2	210
1994	インカンテーション	牡五	内田博	1:47.3	3	3	1570
1993	ベストウォーリア	牡五	戸崎	1:42.1	3	3	2100
1992	モニー	牡四	Mデム	1:41.0	4	4	680
1991	ノンコノユメ	牡四	ルメー	1:43.2	1	1	510
1990	アスカノロマン	牡五	大室	1:49.9	7	7	1510
1989	ゴールドドリーム	牡四	武	1:35.1	3	3	500
1988	ベストウォーリア	牡七	戸崎	1:48.6	5	5	1470
1987	カフジテイク	牡五	津村	1:44.0	1	1	2520

ジョッキーステークス 連対率10傑

1	ルメー	.417
2	M戸崎	.412
3	川村	.321
4	武福田	.313
5	武福田	.278
6	武福田	.272
7	武福田	.245
8	武福田	.205
9	北村	.202
10	池田	.188

2017年終了
平地50勝以上

編集長の足音

フェブラリースには05年の勝ち馬メインショウボウラーの産駒①、06年のカネヒキリの産駒②が父子制覇を旨としているが、03年の勝ち馬ゴールドアリュール産駒は4頭もいる。

7ララベル
8メイショウウスマイトモ
14ゴールドドリーム
16サンライズノヴァ

関東リーディングジョッキーステークス (2018年2月13日終了現在)

順位	騎手	年令	所属	①特重	②重	③着	着外	連対率	通算勝利
1	戸崎	37	(田島俊)	18	7	12	16	71.256	844
2	田辺	34	(フリー)	17	4	8	12	86.203	729
3	石橋	33	(フリー)	10	1	7	3	69.191	571
4	横山	49	(フリー)	10	6	4	4	49.209	2693
5	大野	31	(フリー)	8	1	8	7	78.158	428
6	内田博	47	(フリー)	8	4	7	5	97.128	1114
7	武藤	20	(水野)	8	0	4	5	83.120	32
8	三浦	28	(鹿戸雄)	7	1	12	10	84.168	622
9	北村	37	(フリー)	7	3	5	3	87.118	1265
10	吉田隼	34	(フリー)	6	2	8	11	79.135	776
11	柴山	39	(フリー)	6	2	6	5	69.140	528
12	蛸	48	(フリー)	5	2	5	7	45.161	2492
13	横山	19	(鈴木伸)	5	0	1	2	71.076	18
14	柴田	40	(フリー)	4	1	6	14	87.090	429
15	丸山	27	(根本)	4	1	5	8	85.125	389
16	田中勝	46	(フリー)	4	1	5	2	7.500	116
17	田中勝	46	(フリー)	4	1	4	8	49.123	1741
18	江田照	46	(フリー)	3	0	2	3	57.077	873
19	勝浦	39	(フリー)	2	1	5	2	48.123	860
20	藤田	20	(根本)	2	0	4	3	60.087	22
21	木幡	22	(鹿戸雄)	2	0	3	0	41.109	63
22	杉原	25	(藤沢和)	2	0	1	1	17.100	88

ダートのチャンピオンは簡単には崩れないのである。フェブラリースにはG1になって21回行われているが、若い45歳馬が「18勝」もしているから、4歳サンライズノヴァとのコンビで、ゴールドアリュール産駒のワンツートがあるかもしれない。このG1は2000年以降、関東馬が「18連勝」中であり、2着に公営馬が2回と関東馬が2回。

過去18年のうち、14回までが「西」である。関東馬の希望は、ノンコノユメ。6歳馬はG1になって以降11年間で「32876」はきびしいが、15年チャンピオンズC②着16年フェブラリース②着の連対好走がある。(栢木)

トレーナー連対率10傑

1	藤原和	.337
2	藤原和	.321
3	池田居	.307
4	中角友	.304
5	中角友	.299
6	堀村	.297
7	木国	.282
8	木国	.248
9	須貝	.246
10	須貝	.246

2017年終了
30勝以上